



日本の伝統建築を未来へ

丁寧な移築
思いを込めた再建
海外で続く、新たな歩み



失われつつある古民家、蔵、寺院、神社などの伝統建築に、新たな未来を

日本各地で、文化・建築・職人技の面で高い価値を持つ伝統建築が失われていきます。その背景には、地域社会の変化、土地や建物の再開発、維持管理の難しさがあります。古民家である農家住宅や町家、蔵、寺院、神社、門、鐘楼などは、何世代にもわたって受け継がれてきた知識と熟練の技によって形づくられてきました。

私たちは、建物を元の場所で保存することを、常に第一に考えています。しかし、取り壊しが予定され、元の場所に残すことができない貴重な建物については、丁寧な移築がもう一つの保存の道となります。建物そのもの、その材料、そしてそこに息づく知識を、新たな場所へと受け継ぐことができるのです。

Kominka Collective、Toda Komuten、Kominka Preservation Worksは協力して、失われるおそれのある建物と、その未来を担う新たな人々をつなぎます。日本の伝統職人と、移築先の国の建築家、構造技術者、木造架構の専門家、大工などと連携し、日本での準備から海外での再建まで、それぞれの建物にふさわしいプロジェクトを支えます。





伝統建築の新たな可能性

公共・文化施設における忠実な再建

伝統建築を詳細に記録し、丁寧に移築することで、日本庭園、博物館、文化施設、教育施設などの公共空間に、元の姿を尊重して再建することができます。こうした取り組みは、建物そのものだけでなく、伝統的な材料、職人技、そして建物に息づく知識を受け継ぐことにもつながります。

個人の空間における創造的な再利用と新たな設計

住宅、ゲストハウス、滞在施設、アトリエなどでは、建物全体、小屋組、あるいは選び出した建築部材を生かし、より自由で個性のある再建を行うことができます。伝統的な木材や部材を組み替え、新しい材料と組み合わせることで、新たな場所や用途に合った建物をつくることができます。

日本建築の趣と、現代の快適さ

各プロジェクトでは、海外の建築家、構造技術者、施工チームと協力し、現地の建築法規、構造上の要件、現代の暮らしに求められる快適性や使いやすさに対応します。同時に、元の建物のプロポーション、材料、職人技、日本建築ならではの美しさを大切にします。

古材と、個性豊かな伝統建築の部材

古材、小屋組、建具、障子、欄間、瓦、石材、金物、家具など、さまざまな伝統的な材料や部材もご紹介できます。新築や既存の建物、改修、内装、庭園内の建物など、幅広い建築プロジェクトに取り入れることができます。



古民家：用途・地域・気候が育んだかたち

日本の古民家は、もともとの用途、地域の暮らし、身近に得られる材料、そして気候によって、さまざまな姿を見せます。建物の規模、間取り、小屋組、構法、細部の意匠は、地域ごとに、時には同じ地域の集落ごとにも異なります。



古民家を新たなかたちへ創造・工夫・革新が開く可能性

下の写真では、新潟の民家を1階に、愛知の民家を2階に用いています



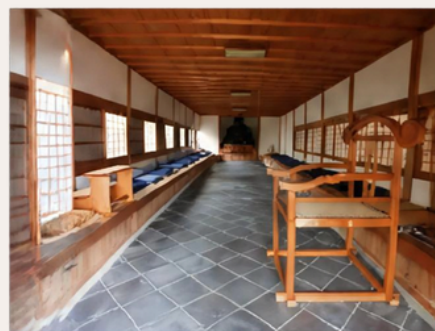
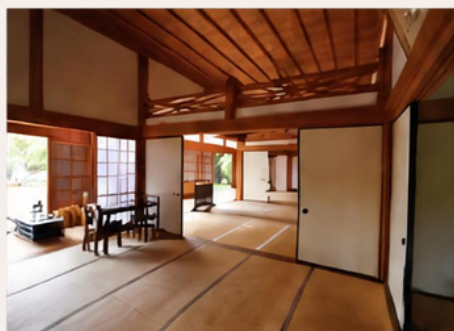
下の写真では、二つの小さな建物をつなぎ、一つのより大きな住宅にしています。





民家だけでなくさまざまな伝統建築を移築する

ここに紹介するのは、移築の準備が進められている寺院、門、鐘楼、神社などの建物と、ふさわしい新たな場所を探している建物です。丁寧な移築によって、その建築、材料、職人技、文化的な意義を未来へと受け継ぐことができます。





各プロジェクトを支える 日本側のチーム

すべてのプロジェクトは、日本側の専門知識と調整から始まります。依頼主、そして移築先の設計・施工を担う専門家やチームと緊密に連携して進めます。

Kominka Collective

非営利団体であるKominka Collectiveは、失われるおそれのある建物を紹介し、最初のお問い合わせに対応するとともに、人や団体をつなぎます。また、保存、記録、教育、文化に関わる取り組みを支えます。

Toda Komuten

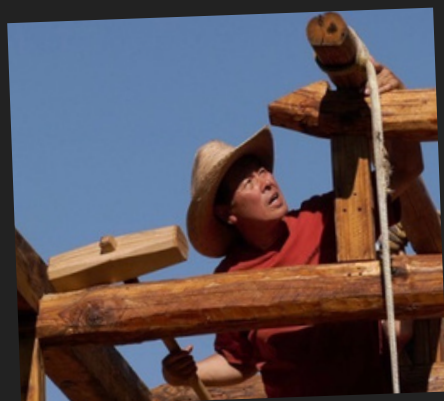
Toda Komutenは、伝統建築、設計、大工仕事に関する専門知識と技術を提供します。設計の具体化や建物の選定を支援し、日本国内で建物の準備を行うとともに、海外での再建に必要な技術情報と指導を提供します。

Kominka Preservation Works

Kominka Preservation Worksは、プロジェクトの具体化、コーディネート、貿易物流を担います。依頼主やToda Komuten、日本の職人、地域パートナー、海外チームをつなぎ、再建から完成まで予算計画を含めプロジェクトを一貫してマネージメントします。

日本の伝統職人

それぞれの建物に必要な専門知識と技術を提供します。プロジェクトに応じて、宮大工、茅葺き職人、瓦職人、左官、建具職人、石工、金属加工の職人などが参加し、再建に向けた準備を支えます。





国際的な連携：日本の専門技術と現地のプロジェクトチームをつなぐ

海外での各プロジェクトは、移築先の場所、用途、現地の法規、使用する建物や部材に応じて計画されます。

Kominka Preservation WorksとToda Komutenは、移築先の国の建築家、構造技術者、施工業者、木造架構の専門家、職人などと協力し、各プロジェクトに適したチームを組みます。Kominka Preservation Worksが連絡調整とプロジェクトの遂行を担い、Toda Komutenが日本側から必要な伝統建築の知識と技術指導を提供します。

地域パートナー

- ◆ Kominka UKやKominka North Americaなど、地域で活動するパートナーが参加する場合は、現地での調整やプロジェクト支援を担うことがあります。その他の国では、Kominka Preservation Worksが依頼主と、現地で編成された設計・施工チームと直接連携します。

プロジェクトに応じた柔軟な運営体制

- ◆ 英国では、Kominka UKが現地での実施を調整し、適切な英国側のチームを編成します。北米では、Kominka Preservation WorksとKominka North Americaが、各プロジェクトに応じて主担当を決め、必要に応じて共同で進めます。その他の国では、現地の状況や参加する専門家に合わせて体制を整えます。

日本とのつながりを保つ

- ◆ 日本側と現地側のチームが円滑に情報を共有し、伝統建築に必要な知識を、海外で完成する建物まで確実に受け継ぐことを目指します。



プロジェクトの流れ



1

ご要望の整理・ 概算見積・合意

敷地、用途、おおよその規模、設計の方向性、予算の目安、海外の専門家チームを確認します。初期の概算見積を作成し、プロジェクトの範囲と契約内容を確認します。

2

建物・部材の選定

保管中の建物や保存のために移築を検討している建物から、適切な建物全体、小屋組、または伝統部材を選び、設計の構想を具体化します。

3

設計と準備

設計を進め、必要に応じて建物を記録し、部材に番号を付けて解体します。建物や部材の清掃、状態の確認、補修、交換、仮組み、梱包を行います。

4

梱包と国際輸送

梱包記録、輸送、輸出手続き、通関書類、配送、保管計画を調整します。

5

再建と取り付け

現地の許認可手続きと施工を進め、建て方を行います。完成まで、技術指導、現場支援、専門的な施工指導を提供します。





初期計画・設計・建物の選定

ご要望の整理と実現可能性の検討

移築先、用途、おおよその規模、設計の方向性、予算の目安、スケジュールについて話し合います。海外チームは、敷地の条件、計画上の要件、適用される建築法規の確認を始めます。

設計の構想と建物の選定

Toda Komutenは、依頼主、Kominka Preservation Works、海外の建築家や設計者と協力し、古民家やその他の伝統建築、あるいは選定した部材を、新たなプロジェクトにどのように取り入れるかを検討します。

日本側のチームは、伝統建築に関する情報を提供します。海外の建築家と構造技術者は、移築先の敷地条件と現地の法規に対応した、建物全体の設計を行います。





日本での記録と準備

Toda Komutenが、日本国内における伝統建築の施工・技術面の作業を統括します。Kominka Preservation Worksは、それに伴う人員、情報、日程、予算などプロジェクトの要件を調整します。

- ◆ 建物の詳細な調査・記録
- ◆ 木材と部材の番号付け・台帳作成
- ◆ Toda Komutenと日本の専門チームによる丁寧な解体
- ◆ 清掃、状態の確認、補修
- ◆ 必要に応じた損傷部材や欠損部材の交換・補充
- ◆ 必要に応じた仮組み
- ◆ 追加する材料や建具・金物などの選定と準備
- ◆ 輸出に向けた梱包と書類作成

日本の伝統職人

建物の種類や必要な作業に応じて、Toda Komutenが宮大工、茅葺き職人、瓦職人、左官、石工、金属加工の職人、継手・仕口の専門職人などを集め、作業体制を整えます。



1



日本の作業場にて

2



海外の移築先にて

輸出と国際輸送

Kominka Preservation Worksは、国際輸送業者、Toda Komuten、依頼主、輸入者、受け入れ側のチームと協力し、建物や部材の国際輸送を調整します。

- ◆ 最終的な梱包明細書と部材記録の作成
- ◆ コンテナへの積載計画と日本国内の輸送
- ◆ 移築先の国で求められる検査、燻蒸、熱処理、防虫処理、その他の検疫措置の調整
- ◆ 国際輸送と船便の手配
- ◆ 輸出手続きと必要書類の準備
- ◆ 貨物保険、輸送状況の追跡、輸送中の連絡調整
- ◆ 海外の輸入者や通関業者との連絡
- ◆ 移築先での港湾荷役、通関、国内配送、保管計画

スケジュール

輸送と施工の日程には、ある程度の柔軟性が必要です。輸出通関、船便の運航予定、港湾荷役、輸入通関、国内配送、安全な保管場所の確保などが、日程に影響する場合があります。





海外での再建と完成

現地の建築家、構造技術者、施工業者、各分野の職人が、必要な許認可を得たうえで建築工事を行います。Kominka Preservation Works、Toda Komuten、該当する地域パートナーも引き続き関わり、日本の伝統建築と材料に特有の作業を支えます。

- ◆ 敷地の整備、基礎工事、緊結・固定、現地で必要な構造工事
- ◆ 伝統的な木材を用いた建て方と組み立て
- ◆ 主要な工程におけるToda Komutenの技術指導
- ◆ 日本側のチームと、現地の建築家、構造技術者、施工業者、木造架構の専門家との調整
- ◆ 必要に応じた日本の大工や専門職人の派遣
- ◆ 伝統部材の取り付けと専門工事の完成
- ◆ 完成・引き渡しまでの継続的な調整

現場での支援と技術指導

必要に応じて、国際プロジェクトチームのメンバーが再建現場で支援と技術指導を行い、現地の木造架構の専門家、大工、施工業者、職人と直接協力します。これにより、伝統的な架構や部材を正しく組み立て、新たな建物に適切に取り入れることを支えます。





プロジェクトの費用区分

各プロジェクトは、建物、設計、建物の状態、移築先、必要な支援の内容に応じて見積もります。

区分0 計画・調査・専門家費用

プロジェクト開始前の初期費用。日本側の設計・調査、海外の建築家・構造技術者の業務、施工業者による見積作成、プロジェクト策定の事前調整。

区分1 日本から移築する伝統建築

記録、解体、清掃、補修、部材の交換・補充、仮組み、梱包などの費用。

区分2 追加の材料・部材

瓦、障子、建具、欄間、石灯籠、家具、設備・金物、古材など、選定した品々の費用。

区分3 国際輸送

コンテナ、国内輸送、国際輸送の手配、輸出入手続き、港湾費用、通関・関税、保険、配送などの費用。

区分4 技術指導・専門的な支援

図面、技術情報、遠隔での指導、日本の大工や職人の渡航、現場での支援。

区分5 海外での建築工事

建築家、構造技術者、施工業者、専門工事業業者、基礎、屋根・外壁などの外皮、電気・給排水などの設備、現地の材料、仕上げ。現地の建築費は通常、海外の建築家、構造技術者、施工業者が算定します。費用は、場所、法規、敷地条件、設計、仕上げの仕様によって異なります。

プロジェクト費用に関して

プロジェクトは、古材を新築や既存の建物に取り入れるものから、伝統建築全体を移築するものまで幅広いため、一律の価格はありません。建物とその状態、設計と用途、日本で必要な作業、移築先と輸送、専門的な支援、現地の許認可と施工によって費用が異なります。最初のご相談の後に、概算費用の枠組みをご提示できます。建物、設計、作業範囲、移築先の要件、プロジェクトチームが具体化した段階で、詳細な見積を作成します。





プロジェクトを始めるために

最初のご相談では、次の情報をお知らせいただくと、より具体的なお話ができます。

1

場所

国、地域、敷地がすでに確保されているかどうか。

2

用途

住宅、ゲストハウス、文化施設、滞在施設、アトリエ、博物館、庭園内の建物、その他の用途。

3

おおよその規模

希望する延べ床面積と、建物全体を使用するのか、一部の部材を使用するのか。

4

設計の方向性

元の姿を尊重した忠実な再建、用途を変えての再利用、伝統的な材料を取り入れた現代建築など。

5

現在のチーム

すでに関わっている建築家、構造技術者、木造架構の専門家、施工業者、機関、地域パートナーなど。

6

時期と予算

目標とする日程と、日本側の作業および海外での建築工事についての当初の予算の目安。





日本を訪れるチームと出会い、建物を見て、作業に触れる

移築をご検討の方、建築家、施工業者、木造架構の専門家、職人など、建築に関わる皆さまのご訪問を歓迎します。プロジェクトのどの段階でも、日本で私たちの活動をご覧いただけます。

訪問では、建物や建築部材の見学・選定、Toda Komutenや伝統職人との面会、記録・解体・補修・仮組み作業の見学、海外での再建方法についての説明などが可能です。

こうした訪問は、海外のチームが、移築先での工事を始める前に、建物、材料、伝統技術、再建の工程への理解を深める機会となります。

訪問内容の例

- ◆ 建物全体や個々の部材の見学・選定
- ◆ 日本側のプロジェクトチームや伝統職人との面会
- ◆ 設計と建物の利用計画の確認
- ◆ 記録・解体・補修・仮組み作業の見学
- ◆ 番号付け、梱包、再建の手順への理解
- ◆ 海外の建築家、施工業者、木造架構の専門家による再建に向けた準備

建物全体、架構、伝統部材、古材などを保管しているほか、保存のための移築を検討している建物もあります。ご紹介できるものは随時変わりますので、最新の情報や写真はお問い合わせください。





Kominka Collectiveの活動 人と伝統建築文化をつなぐ

Kominka Collectiveは、建物の維持・継承や移築による保存に加え、人々と伝統建築、そしてその文化を支える職人をつなぐ教育・文化活動に取り組んでいます。

教育プログラム・公開イベント・講演

伝統建築、建築技術、保存、地域再生に関する講演、ワークショップ、展示、一般向けプログラム、発表など。

建築研修ツアー・共同施工プログラム

伝統的な大工仕事、茅葺き、土を使った建築、修復の現場、歴史的な集落、そして今日もそれらの伝統を受け継ぐ人々に出会う、体験型の学びの機会。

調査・記録

伝統建築とその歴史、保存技術、文化的景観、建築遺産の維持・継承や用途を変えた再利用に関する新たな取り組みの調査・記録。

国際交流・職人の研修交流

国内外の建築家、施工者、保存に携わる人々、学生、博物館、日本庭園、文化団体の間に、交流と協力のつながりを育てます。



伝統建築を未来へ、ともに

伝統建築は、単なる過去の遺物ではありません。知識、職人技、文化、記憶が息づく場であり、未来に向けた貴重な資源です。

伝統建築を保存し、職人を支え、世代や文化を越えて知識を分かち合うことで、これらのおかげがえのない建物を未来へとつなぐことができます。そして、次の世代にも、感動や学びをもたらし、暮らしを豊かにする存在であり続けるよう支えることができます。伝統建築、職人技、文化遺産、歴史ある建物の継承に取り組む皆さまとの協力を歓迎します。



Kominka Collective

kominkacollective.com ➤

Toda Komuten

todasanchi.com ➤

Kominka Preservation Works

kominkapreservationworks.com ➤

Regional Partners

Kominka North America

kominkanorthamerica.com ➤

Kominka UK

kominka.co.uk ➤

Kominka Collective | contact@kominkacollective.com

